



会社案内2022

株式会社 アイシン

〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町二丁目1番地  
<https://www.aisin.com/jp>



2022年7月版

# “移動”に感動を、未来に笑顔を。

1965年の設立以来、半世紀以上にわたり自動車システムの  
グローバルサプライヤーへと成長してきたアイシングループ。  
私たちは、夢と志をもって、心ひとつに挑む。

モビリティの電動化、クリーンパワーによる移動の進化を核に環境・社会課題の解決に貢献し、  
“移動”に自由と喜びを、未来地球に美しさを運び続けます。



取締役社長 吉田 守孝

## ごあいさつ

現在、自動車業界は、環境規制の広がりや人工知能など著しい技術進化を背景に、電動化、自動運転に代表されるCASE革命の大競争時代へと突入しております。

こうした大競争をアイシングループが勝ち抜いていくためには、これまで以上にグループが一体となっていく必要があります。このため、2021年4月、中核企業であるアイシン精機、アイシン・エイ・ダブリュが経営統合し、「株式会社アイシン」として新たなスタートをきりました。

またこれに伴い、経営理念を見直し、「“移動”に感動を、未来に笑顔を。」といたしました。この新たな経営理念のもと、リアルな移動の進化に貢献するだけでなく、人々の「心」を動かすようなあらゆる“移動”体験を世界中の人々に提供するとともに、クルマの電動化やエネルギー関連事業など様々な技術開発に挑戦することで、カーボンニュートラルをはじめとしたさまざまな社会課題に対して具体解を示し、感動と笑顔にあふれる社会を実現するソリューションカンパニーとなっていきます。

今後とも皆さまの変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

## アイシングループ経営理念 “移動”に感動を、未来に笑顔を。



» 3

使命 Mission  
私たちに“移動”に自由と喜びを、  
未来地球に美しさを運び続けます。

めざす姿 Vision  
私たちに夢と志をもって自ら行動し、  
クリーンパワーによる“移動”的進化を核に  
環境・社会課題に具体解を示し  
誰もが安心・快適な未来を創ります。

提供価値 Value  
成長と幸せを  
働く仲間へ

安心と感動を  
お客様へ  
より安全・快適・便利なモビリティを創造し、  
“移動”的喜び・感動を届け、  
お客様の期待を超える新しい価値を生み出します。

持続可能な  
環境を未来へ  
自然と調和し、誰もが安心して暮らせる社会のために、  
モビリティの電動化やエネルギーを有効活用した  
クリーンパワーを通じて、より良い環境づくりに貢献します。

## アイシンの社会課題解決に 向けた取り組み

アイシンは“移動”に感動を、未来に笑顔を。の経営理念に基づき、私たちの商品・サービスによって、環境・社会課題を解決し、人々の笑顔あふれる持続可能な社会をつくりたいと考えています。このような価値観は、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」と親和性が高く、事業活動を通じてSDGsの達成に貢献できると考え、グループとして注力できる7つの優先課題(マテリアリティ)を選定しました。今後も事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

### 事業活動



### 自動車部品事業

#### 優先課題(マテリアリティ)

- 地球温暖化防止
- 交通事故低減
- 安全な移動・輸送手段の提供



#### めざす姿

- エネルギーの使用量の削減やクリーンエネルギーの活用、更に安全・快適な移動手段の提供を通じ、より地球や人に優しいモビリティ社会づくりに貢献
- 
- A horizontal illustration featuring several stylized trees, a car, a person standing, and a city skyline.

### 住生活・エネルギー関連事業

#### 優先課題(マテリアリティ)

- クリーンエネルギー転換の促進
- 健康と福祉の促進



#### めざす姿

- クリーンで高効率なエネルギー関連商品の普及や快適な住生活空間の提供を通じ、より良い暮らしと環境に配慮した町づくりに貢献
- 
- A horizontal illustration featuring stylized trees, wind turbines, a car, a bus, and a city skyline.

### 事業活動



### 全事業共通

#### 優先課題(マテリアリティ)

- 技術革新による持続可能な産業化の促進
- ライフサイクルCO<sub>2</sub>ゼロ、汚染防止、環境負荷削減、資源循環



#### めざす姿

- 未来に目を向けた研究開発による新たな価値の提供を通じ、豊かで持続可能な社会づくりに貢献  
- 地球環境への負荷「ゼロ」をめざした取り組みの推進により、循環型社会への移行に貢献  
- 持続可能な調達

### 経営基盤



### 全グループ共通

#### 優先課題(マテリアリティ)

- 健康・労働安全衛生、人権保護、多様性の促進、働き方改革、ワークライフバランス
- 持続可能な調達

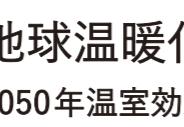


#### めざす姿

- サプライチェーン全体を視野に入れ、多様な人材が生き生きと安心して働く職場環境の確保をめざした取り組みの推進

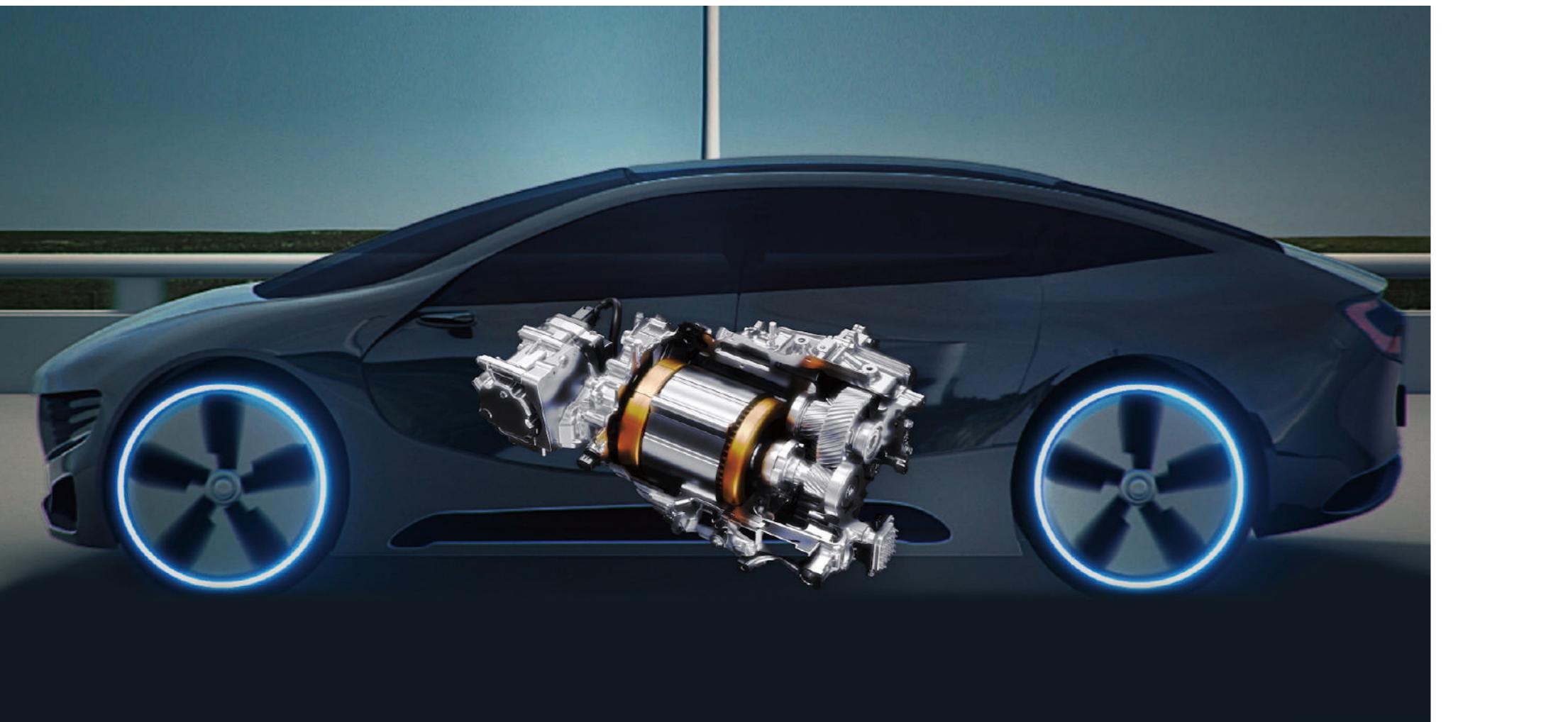
» 4

# 2050年カーボンニュートラル に向けて—



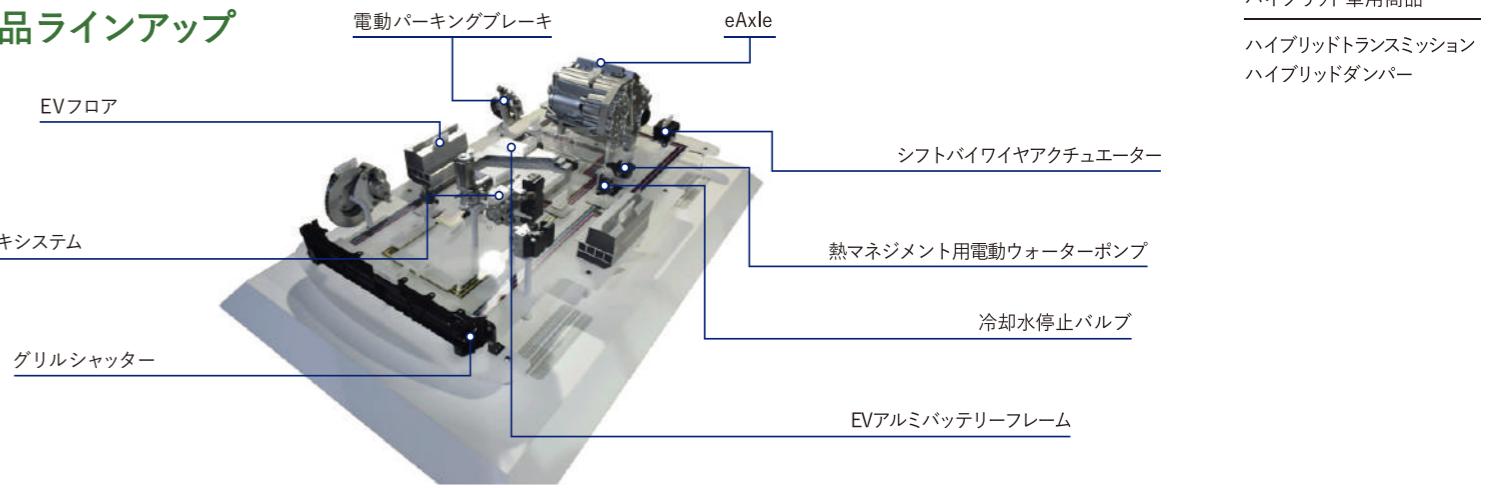
## 地球温暖化防止 2050年温室効果ガス(GHG)排出実質「ゼロ」に向けた商品の拡充

### 1 クルマの電動化でCO<sub>2</sub>削減に貢献



eAxe、熱マネジメントシステムなど電動化車両になくてはならない幅広い商品の開発に取り組み、CO<sub>2</sub>削減とクルマの低燃費化を推進しています。

### II 電動車両向けの幅広い商品ラインアップ



ハイブリッド車用商品  
ハイブリッドトランスミッション  
ハイブリッドダンパー

### II 電動ユニット

オートマチックトランスミッション、CVT(無段変速機)などの従来のトランスミッションの開発・生産を行ってきた経験・実績を軸に、ハイブリッドトランスミッションやeAxeなどの電動ユニットの商品ラインアップを拡大。今後も次世代商品の開発を進め、全方位での商品開発を推進します。

#### eAxe



eAxe (150kW)

#### ハイブリッドトランスミッション



FF1モーター  
ハイブリッドトランスミッション



電気式4WDユニット



FR2モーター  
ハイブリッドトランスミッション



ハイブリッドトランスミッション

#### ハイブリッドトランスミッション

### II 熱マネジメント

モーター・バッテリーといったコンポーネントの性能を最大限に引き出すために、車両システムでの熱マネジメントを行い、最適な温度管理を実現。電費(電力消費率)や燃費の向上に貢献します。



冷却モジュール(開発品)

### II 回生協調ブレーキシステム

HVやEVなどの電動車に搭載。ブレーキフィーリングとエネルギー回収を両立し、燃費の改善に貢献します。



# 2050年カーボンニュートラル に向けて—

## 2 クリーンエネルギーで環境に配慮したまちづくりに貢献



### クリーンエネルギー転換の推進 脱炭素・循環型社会に向けたエネルギー関連開発の推進

家庭用燃料電池などクリーンで高効率なエネルギー商品の開発と普及に努め、  
脱炭素・循環型社会づくりを推進していきます。

#### || 家庭用コージェネレーションシステム

家庭に届くガスから水素を取り出し、酸素と化学反応させて発電する「エネファーム」。  
ガスエンジンで発電する「コレモ」。発電時に発生する熱を捨てずに給湯に利用する  
省エネシステムです。



家庭用ガスエンジン  
コージェネレーションシステム

#### || ガスヒートポンプエアコン (GHP)

GHPはガスをエネルギーとする空調機器です。空調に使うエネルギーを電気の代わりに、  
高効率のガスを使用することで、省エネに貢献します。また、エネルギーを分散化する  
ことで、電力需要の平準化を行い夏季の電力ピークカットにも貢献しています。



ガスヒートポンプエアコン (GHP)

#### || エネルギー供給の最適化をめざした バーチャルパワープラント(VPP)の構築

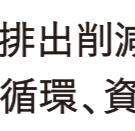
バーチャルパワープラントは、各家庭のエネルギー源を集めてVPP(仮想の発電所)  
を構築するエネルギー管理システムです。私たちは、エネルギー供給の  
最適化に向けて、IoTで束ねたエネファームをVPPで活用できるシステムの開発に  
取り組んでいます。

#### ■ VPPのイメージ図



# 2050年カーボンニュートラル に向けて—

## 3 生産活動におけるCO<sub>2</sub>排出量削減を推進



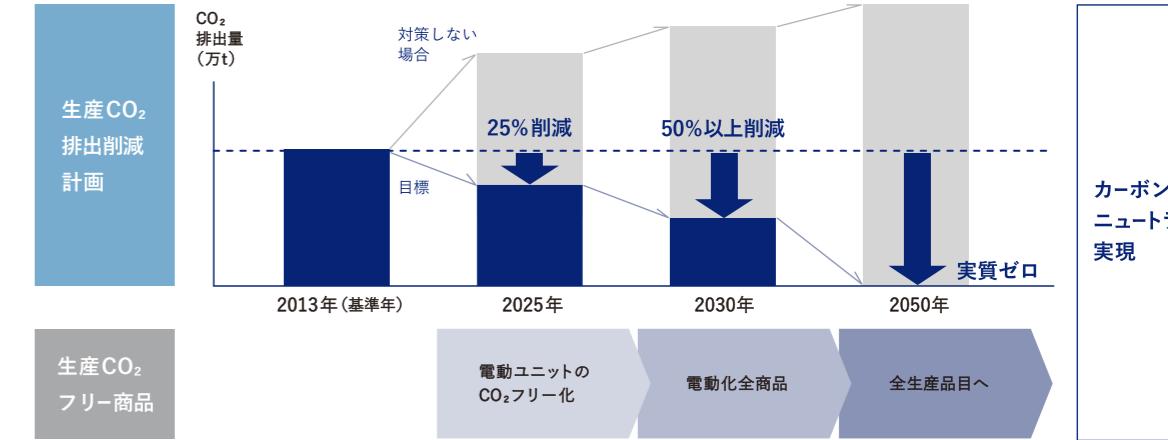
CO<sub>2</sub>排出削減、汚染防止、環境負荷物質削減、  
資源循環、資源効率の改善

クリーンエネルギー工場の拡充、生産工程からの排水の完全リサイクル化の実現など、  
循環型社会に向けた複合的な取り組みを強化しています。

### || 生産CO<sub>2</sub>実質「ゼロ」をめざして

アイシンでは、グループの総力を結集して特に生産時におけるCO<sub>2</sub>削減に向けた取り組みを積極的にすすめ、2030年までに電動化全商品を、2050年までに全ての商品のCO<sub>2</sub>フリー化をめざします。また、生産工程で発生するCO<sub>2</sub>を回収・再利用する技術の開発など、2050年カーボンニュートラルの実現をめざします。

#### ■ 生産CO<sub>2</sub>実質ゼロへのロードマップ



### || 地球環境と人にやさしいゼロエミッション工場をめざして

アイシンはカーボンニュートラル達成に向けて、「動力源・熱源・無駄レス化」「発電・燃焼」「CO<sub>2</sub>再利用」「エネルギー・マネジメント」の4つのテーマをキーにカーボンニュートラル技術の実用化を進め、生産工場のゼロエミッションに取り組んでいます。



#### 1 生産ライン1/2(ハーフ)活動

生産設備の動力源・熱源の1/2化、ダウンサイズ、高速同期をキーとした超eco設備を開発・導入。さらに、生産プロセス改革により生産ラインを1/2にすることでCO<sub>2</sub>削減に取り組む。

#### 2 溶解炉のCO<sub>2</sub>削減

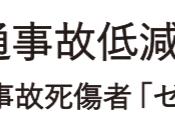
アルミ溶解炉において燃焼制御最適化によるCO<sub>2</sub>低減に加え、燃焼時にCO<sub>2</sub>を排出しない水素を活用した取り組みを実証実験中。

#### 3 CO<sub>2</sub>を回収し再利用

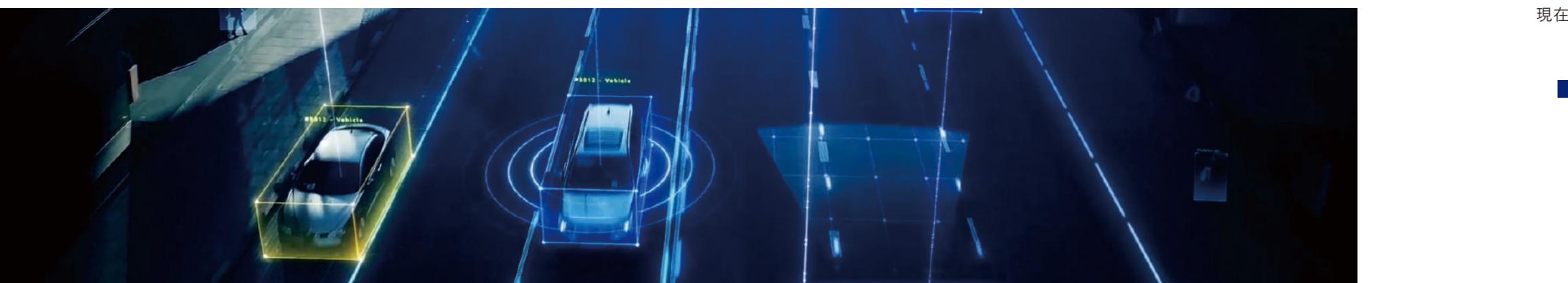
アミノ酸水溶液を用いることで、排ガスに含まれるCO<sub>2</sub>と産業副産物から炭酸カルシウムを生成する技術を開発中。生成物は建築用コンクリートなどで再利用が可能。

製造時にCO<sub>2</sub>の排出が少ない次世代型太陽電池を開発中。軽い・薄い・曲げられるという特徴を活かして、壁面や曲面に設置でき、従来の太陽電池と比較して設置面積が拡大可能。

# 交通死亡事故ゼロに向けて— 自動運転技術で安全・安心・快適な クルマ社会を実現



交通事故低減、安全な移動・輸送手段の提供  
交通事故死傷者「ゼロ」社会の実現に向けた安全商品の拡充



認知、判断、実行の運転フェーズにおいて、カメラやセンサー、「走る」「曲がる」「止まる」を動作させる商品や、  
それらを高度に制御するソフトウェアを組み合わせることで、安全・安心・快適を実現し、交通死亡事故ゼロをめざします。

## || 自動駐車

車庫入れや縦列駐車をより簡単かつ安全に行うために、駐車時の操作を自動で行う駐車システムです。

2003年にはハンドル操作を自動で行うシステムを投入し、2019年にはステアリング操作、

アクセルやブレーキ操作、駐車スペース設定までを不要にする新たな駐車支援技術を開発。

これらの技術を活かして、大型駐車場の入り口から自動で走行・駐車を行う「自動バレー駐車」の開発にも取り組んでいます。



## || ドライバーモニターシステム(DMS)

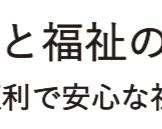
脇見、居眠り運転などに起因する交通事故を無くすため、ドライバーの閉眼状態や視線、顔向きを検出し、警報により運転者に注意喚起を行います。

現在では、マスクやサングラスの着用時も表情の検知が可能に。今後、装着義務化の流れもあり、さらなる需要拡大が見込まれます。



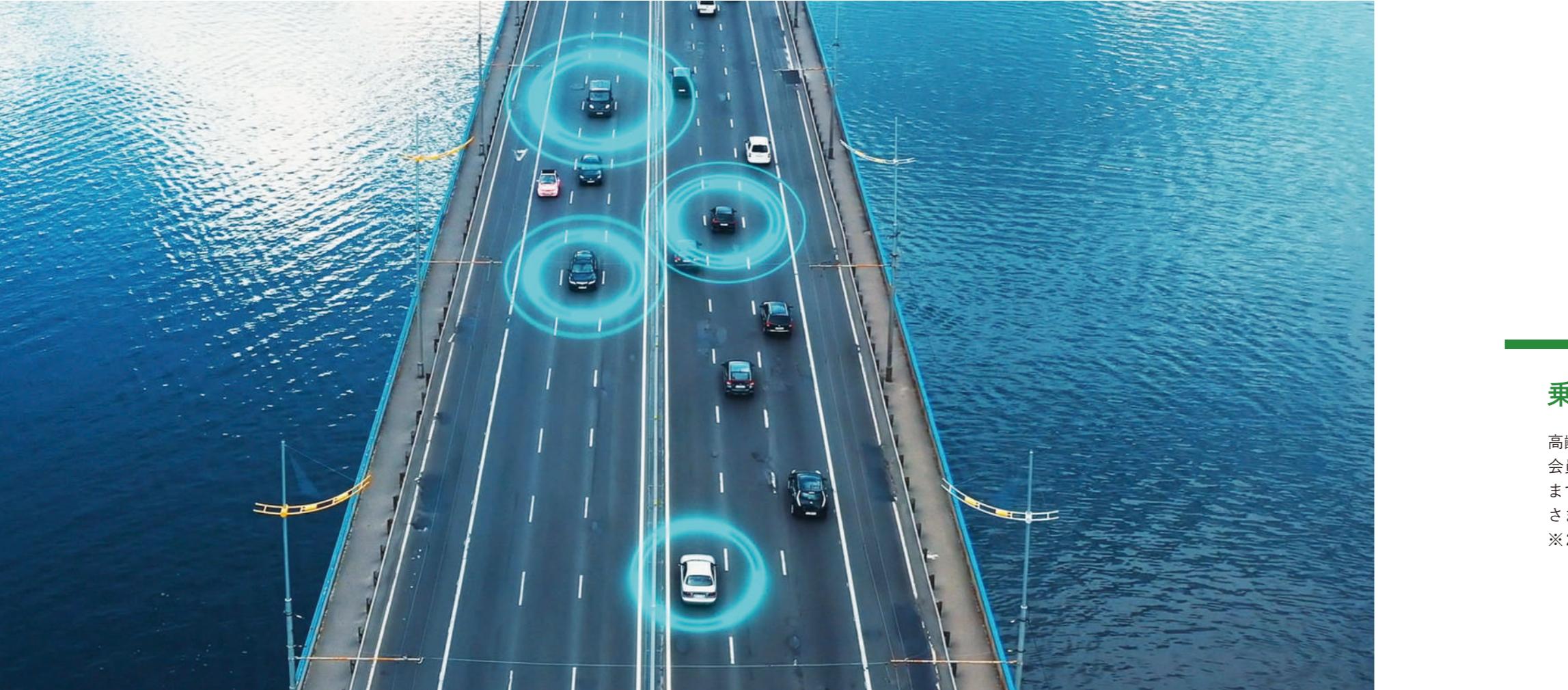
# 多様化するモビリティ社会に—

すべての人に快適な移動を提供



## 健康と福祉の推進

より便利で安心な社会の実現に向けた商品・サービスの創出



MaaS市場の拡大に向けて、すべての人が安心・安全でより快適に生活できる社会の実現のために、新たな商品やサービスの提供をめざしています。

### || エントリーシステム

スムーズな乗降を実現するために、MaaS向けのエントリーシステムを開発。あらゆる路面状況や、乗降者に合わせた安全で快適な乗降を、電動スロープや、大開口スライドドアなどによってサポートします。



パワースライドドアの技術を活用し  
車いすでも安心してスムーズな乗降を実現

### || 見守りシステム

センシング技術やカメラによるモニタリングを用いて、無人運転のモビリティを利用するすべての人に安心・安全な移動時間を提供します。



顔認証や乗員行動監視により安心な客室を提供



様々な状況を判別して最適な乗降を提供

### 乗り合い送迎サービス「チョイソコ」

高齢化や交通不便な地域に向け、位置情報技術を活用した乗り合い送迎サービス。会員登録された利用者から予約を受け、最適な乗り合わせと経路を計算し、目的地まで送迎します。地域の自動車販売店とも連携して地域特性やニーズに合わせたさまざまなサービスを行い、現在では全国30カ所で運行しています。

※2022年6月時点



チョイソコ

# 持続可能な社会の実現に向けて—

多様な人材が活躍できる職場環境



–高レベルな安全を維持 –重大災害・休業災害の撲滅 –働きがいのある職場環境の実現

労働安全衛生、健康、人権保護、多様性の促進、  
働き方改革、ワークライフバランス

多様な人材が生き生きと安心して働く職場環境をめざした  
取り組みを推進しています。

## || 従業員一人ひとりの働きがいの向上に向けた ダイバーシティ&インクルージョンの推進

アイシンでは、働きがいのある充実した人生を実現させ、新たな価値を生み出していくために、グループ一体となって「働きがい改革」を推し進め、従業員の成長支援と企業価値の向上に取り組んでいます。国籍・性別・LGBT等の性・障がいの有無にかかわらず、多様な人材がそれぞれの個を尊重し、従業員一人ひとりが働きがいを持ち、プロフェッショナルとしての能力や個性を発揮し、活躍できる企業をめざしています。

### 働きがい改革のめざす姿



### 女性活躍に関する認定・表彰



なでしこ銘柄  
2021年度認定



えるばし (2つ星)  
2019年度認定



あいち女性輝きカンパニー  
(優良企業表彰)  
2018年度受賞



プラチナくるみん  
2021年度認定



愛知県ファミリー  
フレンドリー企業  
2015年度認定



2020 CONSTITUENT MSCI日本株※  
女性活躍指数 (WIN)



## || 従業員のための健康維持・増進活動

従業員が心身共に健康であるために、心や体の健康維持・増進への取り組みや感染症対策への取り組みなど、各種施策を展開しており、健康経営優良法人の認定を4年連続で受けています。



## || 地域社会とともに「Be With(共に生きる)」

企業も社会の一員であることを自覚し、積極的に社会へ参画し、その持続的発展に貢献します。私たちの活動の合言葉は、「Be With (共に生きる)」。地域社会の皆様と「共に」豊かな社会づくりを実践しています。



地域の小学校で行う「アイシン環境学習プログラム」

# アイシンの 3つの強み

アイシンには、「技術開発力」、「ものづくり力」、「グループの総合力」の3つの強みがあります。

私たちはこれらの強みを活かして環境・社会課題を解決するとともに、「走る」「曲がる」「止まる」そして「快適」を支える車両運動システムパートナーをめざします。

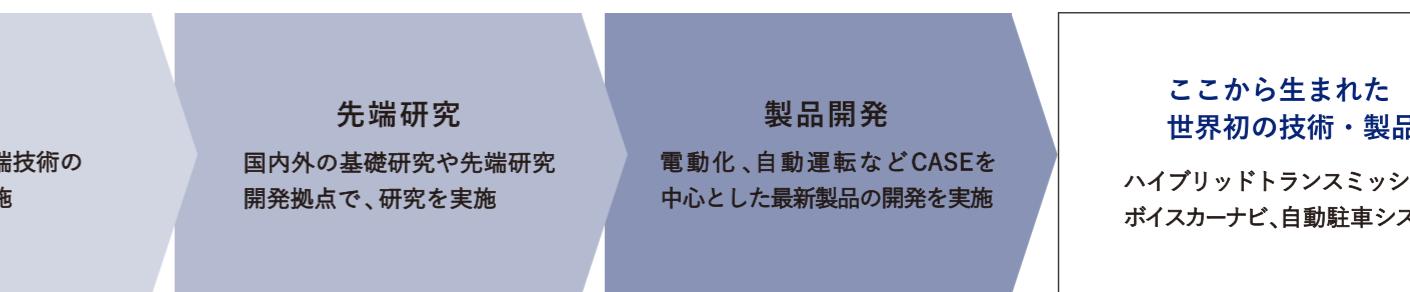


## アイシンの強み | 技術開発力

アイシンは設立以来、競争力のある幅広い商品を世界中に送り出してきました。それを可能にしたのは、世界のニーズをいち早く取り込むためのグローバルな開発体制や、独自の評価体制、自前主義にこだわらない幅広い業種との協業による先端技術開発です。今後は、技術開発におけるデジタルトランスフォーメーションを加速させ、CASE (C:コネクティッド、A:自動運転、S:シェアリングサービス、E:電動化)を中心としたこれからの技術開発において、より一層の競争力強化に取り組んでいきます。

### 世界に広がる研究開発体制により、技術開発を通して社会に貢献する

アイシンは、1978年に技術系シンクタンク「テクノバ」を設立するなど、調査・先端研究・製品開発に取り組み、科学技術を用いて人類の発展に寄与するための活動を行ってきました。その後も「イムラ・ヨーロッパ」をはじめ、国内外に基礎研究や先端技術開発の拠点を構え、エネルギー、モビリティ、エレクトロニクス、医療など、様々な分野で研究開発を進めています。



### 世界の特異環境を再現した評価を実施

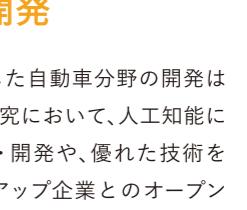
高品質な製品を、自信を持ってお客様へ提供するため、世界の特異環境を再現したテストコースや最先端の設備によって性能・耐久性を検証・追求し続けています。



藤岡試験場(愛知県)

### 幅広い業種との協業による先端技術開発

CASEを中心とした自動車分野の開発はもちろん、先端研究において、人工知能に関する共同研究・開発や、優れた技術を有するスタートアップ企業とのオープンイノベーション活動を進めています。



Tokyo Research Center (秋葉原ダイビル内)





## アイシンの強み | ものづくり力

アイシンでは、次世代商品を支える独創的な工法や生産設備を絶えず革新し続けると共に、ものづくりのスキルを伝承し、グローバルに活躍できるものづくり人材の育成にも注力しています。さらに、より一層の競争力強化に向け、ものづくりにおけるデジタルトランスフォーメーションを加速させています。

### ものづくり人材の育成

私たちは、人材育成がものづくりの基礎になるという考えのもと、アイシンが培ってきた知識・技能の伝承に加え、AI分野など、時代の変化に合わせた新しい教育を積極的に取り入れ、新たな時代で活躍するものづくり人材の育成に注力しています。



電気の配線作業や回路設計を学習

### ダントツを追求する生産技術力

私たちは、ダイカスト、プレス、切削加工など多種多様な工法で素材から組み付けまでの一貫生産を行う生産技術力を駆使することで、シンプル・スリムな設備・型の開発等「ものづくりの力」を強化し、「ダントツ」の品質・原価の「つくり込み」に努めています。



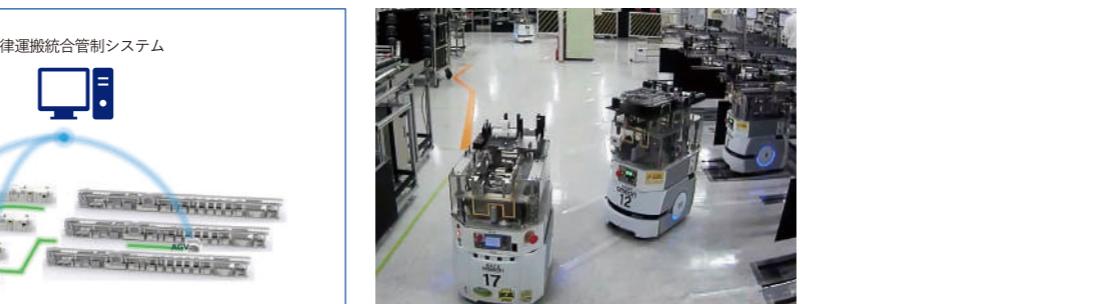
モーターの高密度コイル巻線機

### ものづくりにおけるデジタルトランスフォーメーション(DX)への取り組み

アイシンでは、ものづくりにおける技術革新によって、持続可能な産業化の促進に貢献するために、DXに取り組んでいます。人・モノ・設備から集めた情報の活用によるフレキシブルな生産の実現や、設備不具合の予知・予兆、災害の未然防止、無駄レスなリーン生産の構築を推進しています。



#### ■ フレキシブルな生産を実現した自律運搬統合管制システム



生産状況とAGV(無人搬送車)の稼働状況等をリアルタイムに取得し、それに基づいた最適な運搬計画をシステムで生成・配信することで、AGVの自律的な運搬を実現



## アイシンの強み | グループの総合力

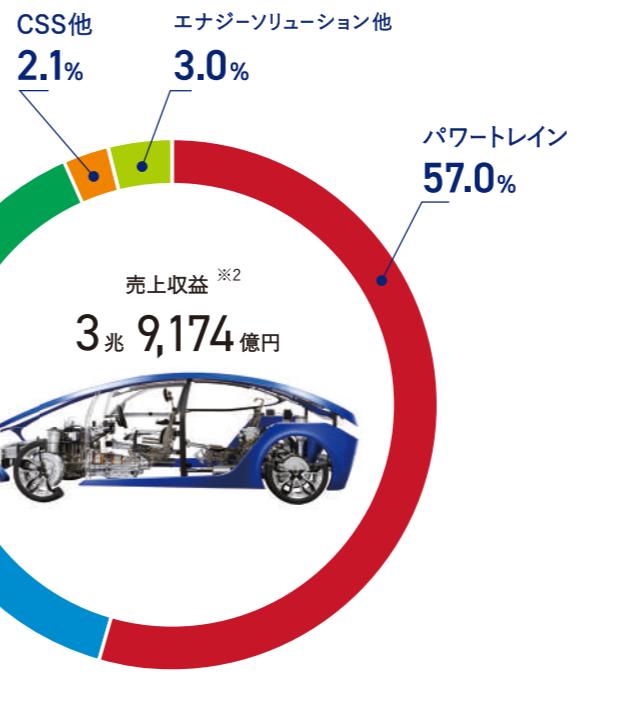
アイシンは、幅広い事業領域と高い専門性を活かし、自動車部品はもちろん、エネルギー関連商品など、多様なニーズに応える事業を幅広く手がけています。

### 自動車部品メーカー 売上高世界ランキング

**5位**

\*1

\*1 2021年(2021年1月～12月)連結売上高  
出典「Automotive News」



\*2 2021年度

### グループ全体での持続的な事業価値の最大化を追求

1965年の設立以来、自動車産業の普及を支えるとともに、グローバルサプライヤーへと成長してきたアイシン。グループ内の連携強化と経営の効率化をねらい、これまでの分社経営からグループ経営に舵を切ると共に、カンパニー制を導入し、持続的な事業価値の最大化をめざしています。また、2021年にはグループの中核であるアイシン精機とアイシン・エイ・ダブリュが経営統合し、100年に一度と言われる大変革期を生き抜くために、更なる競争力を強化します。

#### 組織図



## 革新的な製品が支えるアイシンの成長と発展

アイシンはいつの時代も、新たな価値を提供する製品づくりに取り組み、発展し続けています。

**1943**  
東海航空工業を設立  
(のちに東海飛行機に社名変更)  
航空機用エンジンを生産。

**1945**  
東新航空機を設立

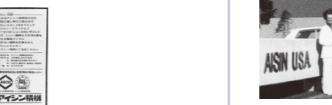
**1945**  
東海航空工業、愛知工業に社名変更

**1945**  
東新航空機、新川産業に社名変更

**1953**  
新川産業、新川工業に社名変更



**1965**  
アイシン精機を設立



愛知工業と兄弟会社である新川工業が合併。体质強化、国際競争力強化という目的のもと、「小異を捨て大同につこう」という両社の決断により「アイシン精機」が誕生する。

**1969**  
アイシン・ワーナーを設立



**1972**  
デミング賞の受賞

**1977**  
アイシン高等学園を設立  
ものづくりの精神と技能を  
伝承し、生産職場の核となる人材の育成を目指す企業内訓練校。

**1970**  
海外初の現地法人を設立



自動車部品の輸出拡大と、  
国際企業としての躍進に備え、ロサンゼルスに「アイシンU.S.A.」を設立。

**1970**  
藤岡試験場を竣工  
総合的な品質保証を目指して、部品メーカーとしては先駆けとなる、走行テストが可能な専用テストコースを持つ試験場を設立。

**1982**  
TQC部門・TPM部門で日本初の四冠達成



PM特別賞の受賞により日本で初めてデミング賞、N賞、PM賞、PM特別賞の四冠を達成。

**1986**  
IMRAを設立



フランスに初の海外研究法人を設立。グローバルな体制で先端技術の開発を推進。

**1997**  
ISO9001認証取得  
本社および技術開発部門6事業部と3海外法人で取得。

**2007**  
「アイシンウェイ」策定



アイシンの仕事のやり方・考え方、働く上で共有すべき価値観や行動規範を示した「アイシンウェイ」を作成・発行。

**2014**  
MT、ブレーキ、シート、車体事業の再編  
機能を集約し、リソースを最適に配分することで競争力を強化していくことを狙いにトヨタグループ内での事業再編を実施。

**2017**  
バーチャルカンパニー(VC)制導入

各社で磨いた専門性を結集し、会社の枠を超えた事業軸で総合力を発揮できる、新たなグループ連携体制をスタート。

**2020**  
カンパニー制導入  
グループ全体での持続的な事業価値の最大化に向け、バーチャルカンパニー制を進化させたカンパニー制への移行をスタート。

**2021**  
アイシンを設立  
アイシン精機とアイシン・エイ・ダブリュが経営統合。

**1940**

**1946** 家庭用ミシン①  
**1947** クラッチディスク



①家庭用ミシン

**1950**

**1953** オイルポンプ  
**1954** ドアロック  
**1955** バンパー・ジャッキ



②2速半オートマチックトランスミッション

**1960**

**1961** 2速半オートマチックトランスミッション生産委託②(日本初)  
**1963** ピストン  
**1964** インテークマニホールド  
**1966** トヨタベッド③  
**1967** 湿式摩擦材



**1970**

**1972** かつお・まぐろ自動一本釣機  
**1976** シャワートイレ④  
**1977** サンルーフ⑤(日本初)



⑤サンルーフ

**1980**

**1983** スターリングエンジン⑥  
**1985** 電動チルト&テレスコピックステアリングシステム  
**1987** ガスヒートポンプエアコン⑦



⑥スターリングエンジン

⑦ガスヒートポンプエアコン

**1990**

**1992** ボイスナビゲーションシステム⑧(世界初)  
**1998** フェムト秒ファイバーレーザー⑨  
**1999** 駐車アシストシステム(世界初)



⑧ボイスナビゲーションシステム

⑨フェムト秒ファイバーレーザー

**2000**

**2001** パワースライドドアシステム  
**2003** インテリジェントパーキングシステム  
**2006** FR8速オートマチックトランスミッション(世界初)  
**2009** エンジン冷却用電動ウォーターポンプ



⑩インテリジェントパーキングアシスト(IPA)(世界初)

**2010**

**2012** 家庭用燃料電池コーディネレーションシステム  
**2017** FR10速オートマチックトランスミッション(世界初)  
**2019** FF1モーターハイブリッドトランスミッション⑪



⑪FF1モーターハイブリッドトランスミッション

**2020**

**2020** eAxle⑫



⑫eAxle

|| 自動車部品ラインアップ

パワートレイン



eAxe(150kw)  
eAxe(80kw)



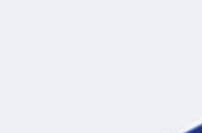
FF1モーター  
ハイブリッド  
トランミッショ



FR1モーター  
ハイブリッド  
トランミッショ



FR2モーター  
マルチステージ  
ハイブリッド  
トランミッショ



CVT



FR10速オートマチック



エンジン冷却用  
電動ウォーターポンプ



バッテリー冷却用  
電動ウォーターポンプ

CSS



乗り合い送迎サービス  
「チョイソコ」



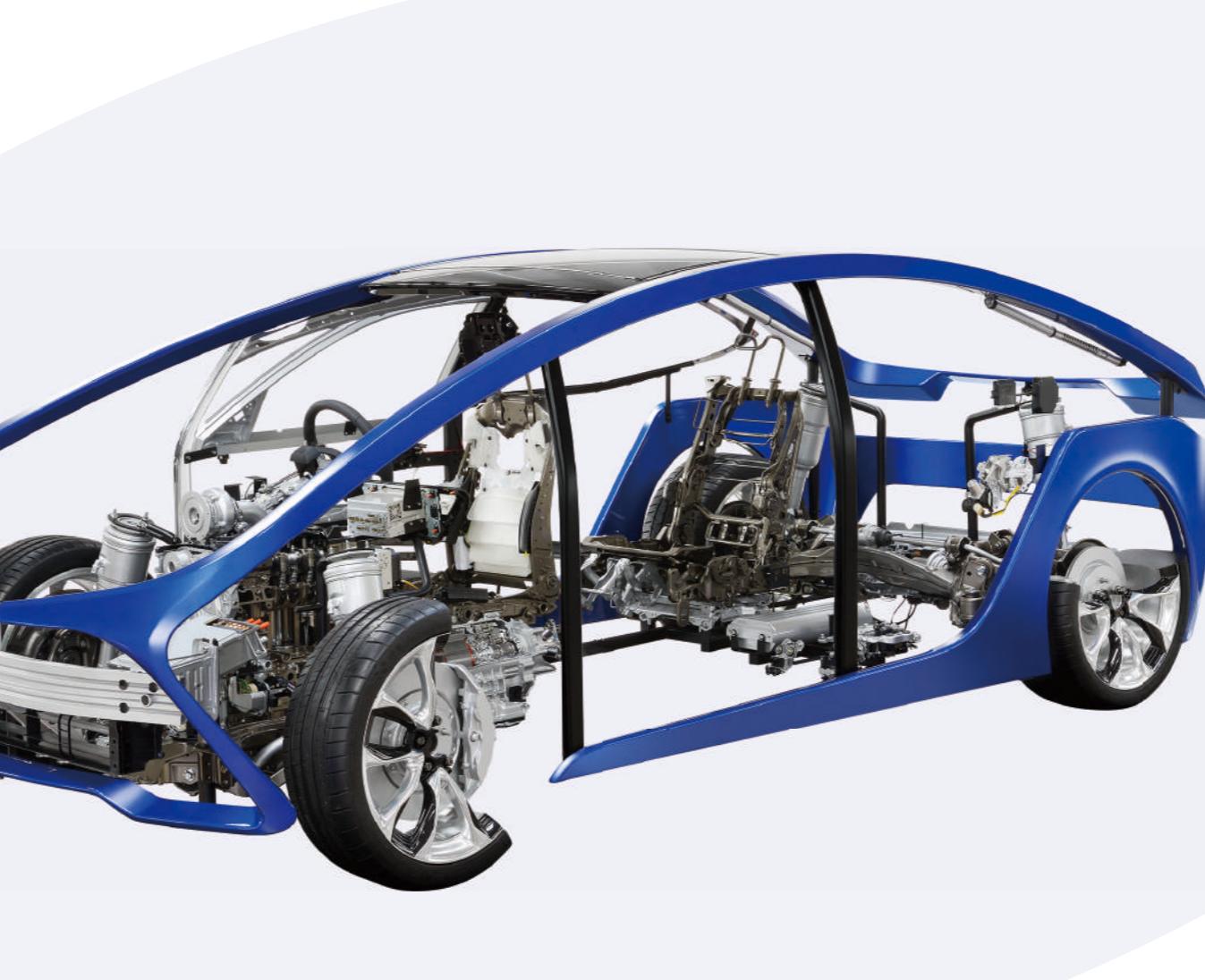
道路維持管理支援サービス  
「みちログ」



カーナビゲーション



物流支援サービス



車体



パワースライドドアシステム



パワーバックドアシステム



サンルーフ



グリルシャッター



アクティブフロントspoiler

走行安全



自動駐車システム



ドライバーモニターシステム



回生協調ブレーキシステム



ディスクブレーキ



アクティブ  
リアステアリングシステム

アフターマーケット

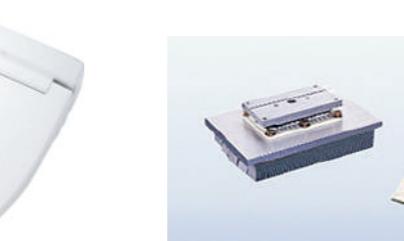


補修・メンテナンス用商品

## | エナジーソリューション



家庭用コージェネレーションシステム



ガスヒートポンプエアコン(GHP)



ペルチェモジュール



水素ステーション

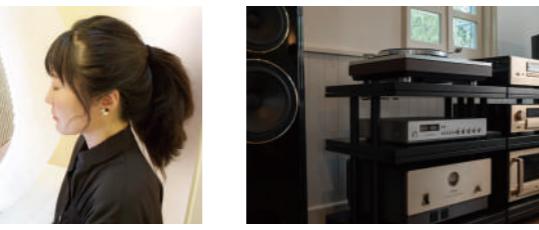
## | 新規事業・その他



パーソナルモビリティ「ILY-Ai」



デリバリーサービス「めしクルー」



微細な水粒子「AIR(アイル)」



音響設備「TAOC」



住宅リフォーム

## 設立

1965年8月31日

## 資本金

450億円

## 代表者

取締役社長 吉田 守孝

## 本社所在地

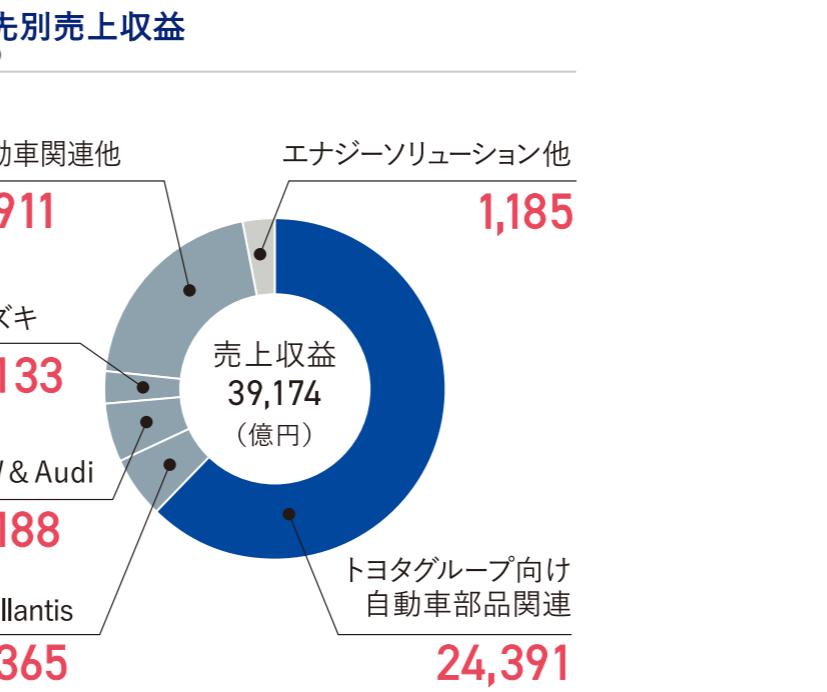
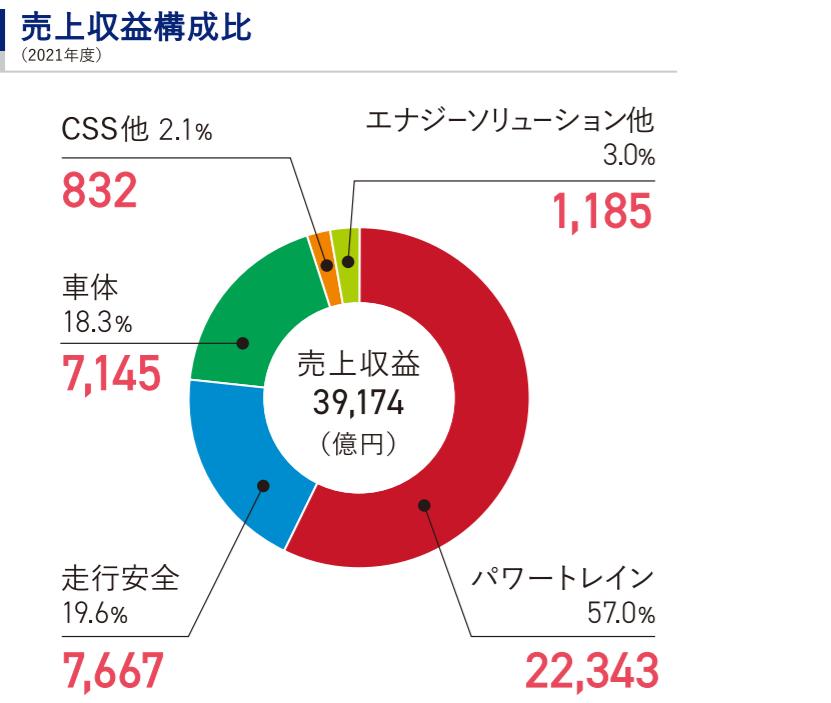
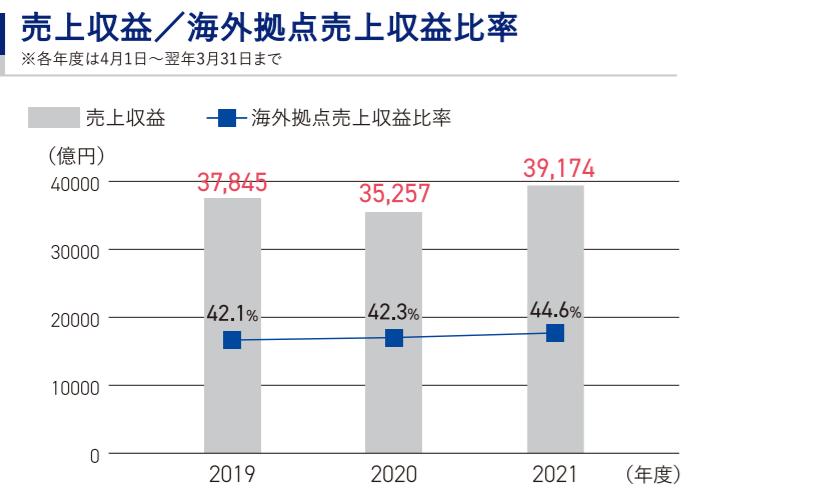
〒448-8650  
愛知県刈谷市朝日町二丁目1番地  
電話 (0566)24-8441 (代表)

## 事業内容

自動車部品、エネルギー・  
住生活関連製品の製造販売



## || データ



## || 工場

**安城工場**  
〒446-8524  
愛知県安城市三河安城町1丁目11番地2

**岡崎工場**  
〒444-8564  
愛知県岡崎市岡町字原山6番地18

**安城第1工場**  
〒444-1192  
愛知県安城市藤井町高根10番地

**岡崎池金工場**  
〒444-3501  
愛知県岡崎市池金町字中大入1番地56

**安城第2工場**  
〒444-1192  
愛知県安城市藤井町高根10番地

**岡崎電子工場**  
〒444-8564  
愛知県岡崎市岡町字原山6番地18

**安城モータ工場**  
〒444-1192  
愛知県安城市藤井町高根10番地

**岡崎東工場**  
〒444-3502  
愛知県岡崎市大幡町字大入1番地1

**岡崎牧平工場**  
〒444-3624  
愛知県岡崎市牧平町字岩田3番地32

**吉良工場**  
〒444-0504  
愛知県西尾市吉良町友国松下155番地

**小川工場**  
〒444-1162  
愛知県安城市小川町久々井1番地

**城山工場**  
〒445-0006  
愛知県西尾市小島町城山1番地

**蒲郡工場**  
〒443-8555  
愛知県蒲郡市浜町24番3

**新川工場**  
〒447-0861  
愛知県碧南市六軒町4丁目75番地

**衣浦工場**  
〒447-0824  
愛知県碧南市港南町2丁目8番地12

**新豊工場**  
〒473-0921  
愛知県豊田市高丘新町天王1番地

## 世界の自動車メーカーを支える グローバルネットワーク

世界の主要自動車メーカーの近くで供給体制を構築するのは、  
現地の道を知り、人々のさまざまなニーズに応えたいから。  
高い価値の製品を生みだすために、  
今後も生産体制の強化や販売・開発体制の整備などを進め、  
グローバルネットワークのさらなる充実を図ります。

